

SiteManager Embedded

セキュアなリモートアクセスとデータ収集を単一のソフトウェアで実現

SecomeaのSiteManager Embeddedは、ターンキー型のソフトウェアゲートウェイです。プラグアンドプレイのソリューションとして、PC、IPC、またはHMIに簡単にインストールでき、セキュアアクセスゲートウェイとして機能します。

SiteManager Embeddedは、OSにかかわらず同一のライセンスで有効化されます。ライセンスは2種類から選択でき、BASICはインストール先プラットフォームへのコスト効率の高いアクセスを可能にし、EXTENDEDはそのプラットフォームをフル機能のリモートアクセスゲートウェイへと拡張します。



複数のOSおよびCPUに対応

- Windows 32/64 bit x86
- Windows Embedded x86
- Windows Compact (CE7) x86*
- Windows Compact (CE7) ARM*
- Linux x86 (各種ディストリビューション)
- Linux ARM Raspberry Pi
- Linux ARM (各種ディストリビューション) *
- VxWorks ARM*

*カスタム統合の対象となる場合があります

主な特徴

複数のデバイスを同時に接続

UDP/TCPを介して、各機器のネイティブプロトコル (Modbus、PROFINET、EtherCAT、EtherNet/IP など) を使用し、あらゆる種類の産業機器を最大10台まで接続できます。

ファイアウォール環境にも対応した容易なインターネット接続

Ethernet、4G、WiFiなど、既存のネットワークインフラのファイアウォール越しに、安全なインターネット接続を実現します。

インテリジェントデータ収集モジュール (DCM)

Linux版では、OPC UA、Modbus、TCP、Siemens S7、EtherNet/IP、MQTT などのプロトコルを介してフィールドデバイスからもデータを収集し、Microsoft Azure IoT Hub、Amazon AWS IoT Core、Software AG Cumulocity IoT、AVEVA Insight など、任意のクラウドソリューションに送信して処理を行うことが可能です。

SiteManager Embedded

柔軟なライセンス有効化

インストール、設定、および GateManager M2Mサーバーへの接続は無償で行えます。必要に応じて、有効化ライセンスはGateManagerからワンクリックでリモート適用できます。

静的トンネル接続

トラフィック方向 (Pull および/または Push) とIP制限を簡単に設定することで、高いセキュリティを維持したまま、持続的なネットワーク接続を実現できます。ルーティング、ファイアウォール、トンネルの設定は不要です。インターネット上に公開するパブリックアドレスは不要で、固定IPアドレスに依存せず、リモートサイトでIPサブネットが重複していても問題ありません。

統合Web UIとフルAPI

統合Web GUIのすべての機能はJSON API経由で管理できるため、ネイティブUIやアプリケーションから、SiteManager Embeddedアプリケーションの設定、制御、状態監視をすべて行うことが可能です。

技術仕様

監視およびロギング機能

- GateManagerでの自動イベントログ
- SiteManagerのステータスに基づくアラート通知を、GateManagerから一元的に電子メールまたはSMSで送信可能
- プラットフォーム上の他のアプリケーションとの統合に対応するローカルJSON API

設定および管理

- 設定バックアップ管理 (GateManager経由)
スケジュールバックアップおよび迅速な交換 (コールドバックアップ) を含む
- ローカルWeb GUI、JSON API、またはプラットフォーム上のファイル (Windows RegistryまたはLinuxのテキストベース設定ファイル) による設定
- 事前定義済みDevice Agentにより、すべてのPC、Webデバイス、一般的なPLCおよびHMIへのアクセスを容易に設定可能

内蔵データ収集モジュール (DCM)

(Linux x86版およびRaspberry Pi版で利用可能)

- 収集プロトコル (Ethernet) :
- OPC UA、Modbus TCP、Siemens S7、EtherNet/IP、MQTT、HTTP GET (JSON、XML など)、Simulator

- データサーバー (クラウド) プロトコル :
- Microsoft Azure IoT Hub、Amazon AWS IoT Core、Software AG Cumulocity IoT、Aveva Insight、Alibaba/Aliyun、Schneider Machine Advisor

- エッジコンピューティング機能 :
- 集計 (平均、最大/最小、演算 など)
 - イベントトリガー型アラーム

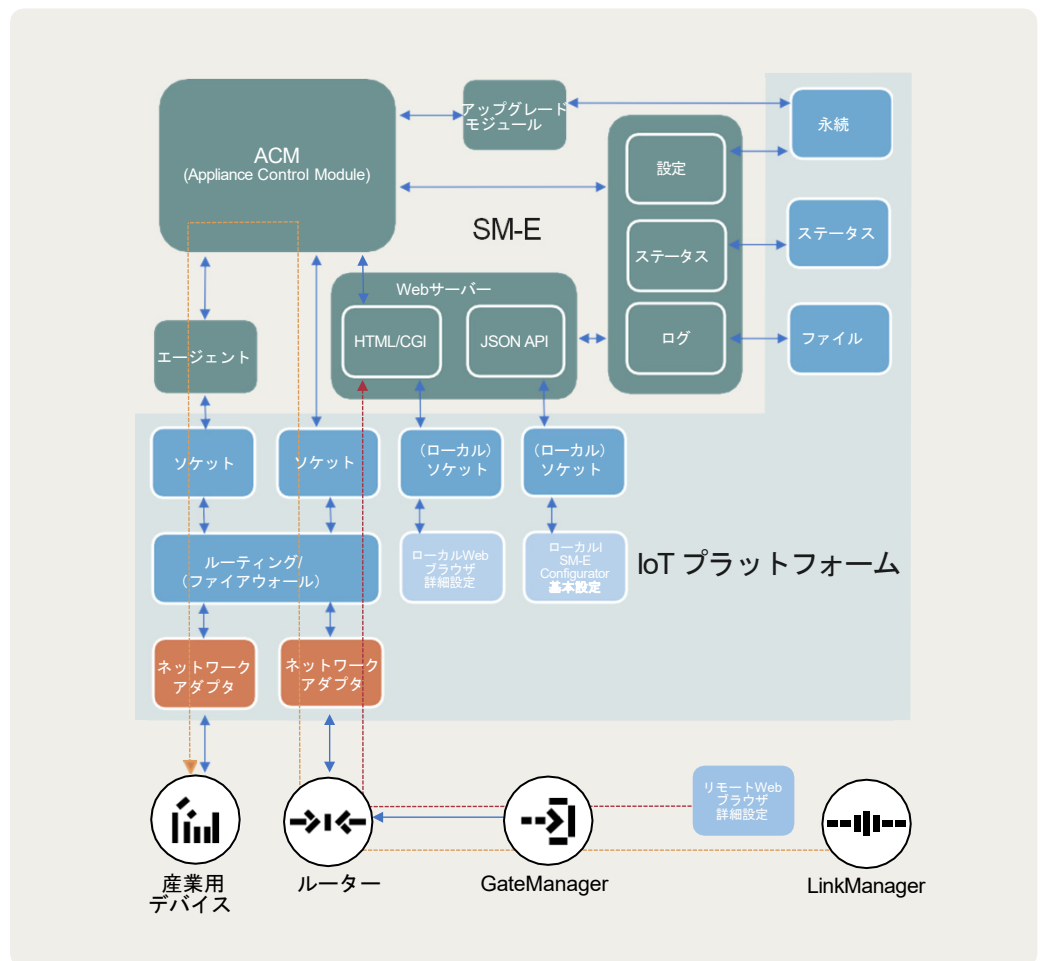
- ストア&フォワード容量 :
- プラットフォームで利用可能なFlash / ディスクストレージを使用

静的LogTunnel接続

- LogTunnel Clientオプションでは、SCADAやロギングシステムなどの中央サーバーに対しデバイスからデータをPushまたはPull可能
- LogTunnel Masterオプションでは、中央サーバー (SCADAなど) にインストールされた1つのSiteManager Embeddedが、リモート側のSiteManager Embeddedまたはハードウェアモデル上のLogTunnel Client経由で、複数のデバイスから送信されるデータ (Push) をUDP/TCPで同時に受信可能
- Linuxでは、中央サーバー (SCADAなど) 上でLogTunnel Masterを設定することで、中央アプリケーションが、SiteManager Embeddedまたはハードウェアモデル上のLogTunnel Clientを介して、複数のリモートデバイスにTCPで同時接続可能

カスタム統合SDK

- 標準提供されるバージョンは、複数のプラットフォームにインストール可能。Raspberry Pi版は、他のARMベースプラットフォームでもそのまま使用可能
- 特定のターゲットプラットフォーム向けのカスタムビルドは、個別契約に基づいて対応可能。その場合、Secomeaのエンジニアリング部門に対し、当該プラットフォームおよび対象デバイス向けのツールチェーンの提供が必要



SiteManager モデル比較	SiteManager (ハードウェア)	SiteManager Embedded (BASICライセンス)	SiteManager Embedded (EXTENDEDライセンス)
IPデバイスへのリモートアクセス(UDP/TCP)	Yes	Yes	Yes
USB/Serial/Layer2デバイスへのリモートアクセス	Yes	No	No
リモートネットワーク全体へのトンネリングアクセス	Yes	Yes	Yes
個別デバイスエージェント数	Up to 100	2	Up to 10
他のIPデバイス向けアクセスゲートウェイ	Yes	No	Yes
データ収集モジュール (DCM)	Yes	No	Yes*
設定可能なフォワーディング/ルーティングルール	Yes	No	No
EthernetおよびUSBデバイスの自動検出	Yes	No	No
LogTunnel Client対応	Yes	Yes	Yes
LogTunnel Master Push対応	Yes	No	Yes
LogTunnel Master Pull対応	Yes	No	Yes*

*Linux 版のみ